

くさばな しんぶん

2022年
10月号

令和4年

10月3日発行

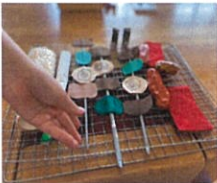
通算第315号

ようちえんでの遊び紹介 ～やまぐみ編～

夏休みに BBQ をしたご家庭も多かったのではないのでしょうか。やま組では 2 学期になり、お子さまたちの発想から BBQ ごっこを楽しむようになりました。毛糸で焼きそばやジュース、ケチャップに見立てたり、フェルトで焼きとり、お肉、画用紙や折り紙でさつまいも、きのこ、ナゲットとうもろこし、マシュマロなどに見立てたりし、次から次へと出るお子さまたちの発想に驚かされました。トングで焼く姿は本当に BBQ をしているようです。まだまだ盛り上がり、「テントも作りたい!」との声もあがっています。こうしたお子さまたちの発想から広がる遊びを取り入れ、その中で友だちや先生との関わりや、充実した自由遊びの時間を大切に考えております。



みんな～
お肉焼けたよ
焦げちゃうよ～



《2 学期が始まりました》

9 月 1 日に全園児が園庭に集まり始業式を行いました。『2 学期』と言ってもそれを理解するのは難しいと思うので、「今着ている半袖の洋服が、だんだん寒くなって長袖に代わる頃までの間だよ」と伝えと、お子さまたちから「えー！？」という反応が返ってきました。『こんなに暑いのに、寒くて長袖を着るなんていう日が訪れるの?』ということでしょうか?それとも『2 学期ってそんなに長いのか?!!』という驚きでしょうか?いずれにしてもお子さまたちにとっては、『2 学期はとっても長いのもいいな!』ということでは分かったようでした。

さて、そんな 2 学期の始まりとともに、園庭にはとんぼがやってきて、秋の空を気持ちよさそうに飛んでいます。虫好きのお子さまがとんぼを捕ろうと網と虫かごを携え、一生懸命に追いかけていました。また、園舎裏の草むらや墓地の方に行くとなつたが隠れています。お子さまが足や手で草をかき分けると、無数のハタガが一斉にジャンプをして居所を教えてくれるため、それに合わせて上手く捕まえているお子さまたちでした。他にも、園庭で役目を終えたおしろい花やキバナコスモスの花びらを使って色水を作るなど、この季節ならではの遊びが多く展開されていました。

2 学期も様々な経験や遊びを通し、季節を感じながら、友だちや先生たちとともに楽しい園生活が送れるように見守っていきたくて思っております。2 学期もどうぞよろしくお願いいたします。

《もうすぐ運動会》

今年も運動会の季節がやってきました。お子さまたちは、2 学期が始まってから毎日少しずつ練習に取り組みんでいます。運動会は、主に園生活の中で運動面での成長を発表する場として考えています。そのため、どの学年も、これまで遊びや活動で行ってきたことが取り入れられた内容となっています。

にじ組は初めての運動会です。名前を呼ばれて返事をしたり、担任と一緒に遊戯をしたりと普段の生活そのままをご覧いただけると思います。かわ組は遊戯でカエルになります。これは、1 学期に田んぼで捕まえたカエルがきっかけとなり、これまでいろいろなカエルに関する活動を行ったことから運動会に繋がりました。とても可愛らしいカエルの表現が見られます。

もり組は、競技で探検をします。探検のルートは、これまでの運動遊びで行ってきた、ジャンプやジグザグ走行などを探検という形に変えて行きます。双眼鏡などの小道具も探検に行くために準備しました。

やま組は、新しい試みとして長縄跳びにチャレンジします。これも、日ごろの運動遊びの 1 つで行ってきたことですが、始めたばかりのころは、回っている縄に入ることも難しかったお子さまたちが、少しずつ恐怖心を克服し、タイミングを合わせて跳べるようになり、クラス全員が続けて跳べるようになったという過程があります。当日は新たなチャレンジとして頑張ることでしょう。



このような内容でお子さまたちは本番に向けて最後の練習に取り組んでいるところです。当日は、多くのお客様の前で緊張もあるかと思いますが、これまでの過程を充分にご理解いただき、お子さまの応援をお願いいたします。

園長 影山 幸江

《子どもの「能力」 - 「非認知能力」(ひにんちのうりょく)》

人間にはさまざまな「能力」があります。その典型が「学力」でしょうか。学校→勉強→テスト→学力→受験という流れがあります。これこそ子育てするにあたってご両親の頭から離れない課題だと思えます。学力はテストで計られます。数字に表すことができる能力です。しかし最近、保育の世界では、数字では測定できない能力が大事なのだ、と盛んに言われるようになってきました。これを「非認知能力」と学者さんは呼んでいます。この漢字の並びを見ると、「能力」という字があっても頭に「非」がくっついているのでなんだか良いイメージは湧きません。これはもともとは英語の「non cognitive ability」を直訳したもので、日本語としてはしっかりこないですね。しかし極めて大事な能力であるとされています。



それはそれとして、これがどのような能力を言っているのかというと、他人と協力してものごとを成し遂げていく力とか、我慢する力とか、やっつけられないことを理解していることとか、自己肯定感とか、「人」として生きて行く上で大切なことばかりです。

たしかにこうした力は学力テストでは計れません。人として社会を構成して行く上で大事なことはこれです。そして、こうした能力は上から与えることはたぶんできません。自分で体験して初めて得られるものだと思います。

『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』(R. フルガム)という本が有名です。

幼稚園でも保育園でも、砂場のような場で力を合わせて何かを作りあげてみんなで喜びとか、こんなことをしたらケンカになるとか、そんな体験が「非認知能力」を高めることになるそうです。学校を意識した「勉強」を幼稚園や保育園で子どもたちに課すことは適切とは言えません。そうではなくて他人とともにいかに生きて行くか、そうした場を用意し与えるのが幼稚園や保育園の大事な役割です。現に幼稚園の教育要領などでもこうしたことは協調されています。むしろそれなのに今さらながらにこの「能力」がクローズアップされていることに、世の中の幼稚園教育の風潮に何か問題があるのかも知れません。

理事長 山城 清邦



保護者会だより

今月はかわぐみ担任の島貴あおい先生と和田純子先生、高橋美穂先生のインタビューです。

質問① 幼稚園の給食の中で好きなメニューは何ですか?

あおい先生 全部美味しくて大好きですが、特に栗の中華おこわ、かやくご飯が大好きです。
和田先生 どの給食も美味しくて好きですが、特に野菜カレーとみそ汁は最高です。
美穂先生 栗の入っている混ぜご飯



質問② 好きな音楽は何ですか?

あおい先生 高橋優さんの歌が好きです。泣ける良い歌もあれば、笑える面白い歌もあって好きな曲がたくさんです。K-POP の BTOB というグループも好きです。歌がとっても上手で癒されます。
和田先生 特定の好きなジャンルの音楽はありませんが、その時々で心に沁みる背中を押される、元気になる音楽に惹かれます。
美穂先生 ディズニーソングト 洋楽・J-POP なんでも聴きます。

質問③ どこでもドア(ドラえもん)があったら何をしたいですか?

あおい先生 海外旅行に行きたいです。韓国で爆買いしたり、スイスで綺麗な景色を眺めたり、ニュージーランドの綺麗な海でフカフカ浮かりたいです。
和田先生 鉄道の旅を楽しみたいです。TV で放送されている「世界の車窓から」に憧れ、アラスカ鉄道等どこでもドアを使って乗ってみたいです。
美穂先生 無人島に行って、きれいな海を見ながらキャンプがしたいです!

質問④ 幼稚園の先生ではなかったら何になりたいですか?

あおい先生 やってみたいことはたくさんありますが、ネイリストや美容師に憧れます!
和田先生 漫画家です。少女雑誌「少女フレンド」「マーガレット」の愛読者でした。
美穂先生 ディズニーランドで働いてみたいです。

お忙しい中ご協力いただき
ありがとうございました。